最終更新日：2015 年 10 月 7 日

移行事前準備
ガイド

<u>※本ガイドは移行（コピー）実施前に参照するものとなります。</u>

目次

1　はじめに .... - 2 -

1.1　目的 .... - 2 -

1.2　用語 .... - 2 -

1.3　移行の流れ .... - 2 -

1.4　移行対象/対象外と事前準備の要否 .... - 3 -

2　メール関係の事前準備 .... - 3 -

2.1　メールアカウントの確認と変更 .... - 3 -

2.2　パスワードの確認と変更 .... - 4 -

2.3　転送設定の確認と変更 .... - 4 -

2.4　エイリアス設定の確認と変更 .... - 4 -

2.5　送信時の認証の確認と変更 .... - 5 -

2.6　残置/キャッシュされたメールメッセージの PC 端末への取込 .... - 6 -

3　Web アプリに関する事前準備 .... - 6 -

3.1　WordPress の確認とアップグレード .... - 7 -

4　MySQL データベースに関する事前準備 .... - 7 -

4.1　DB の数を絞る .... - 7 -

4.2　DB のサイズをシュリンクする .... - 8 -

5　Web コンテンツに関する事前準備 .... - 10 -

5.1　追加ユーザを利用の場合の確認 .... - 10 -

5.2　CGI を呼び出すフォームタグの確認 .... - 10 -

5.3　SSL ドキュメントルートの分離対応 .... - 11 -

Copyright © 2015 NTT Plala Inc. All right Reserved

1　はじめに

1.1 目的

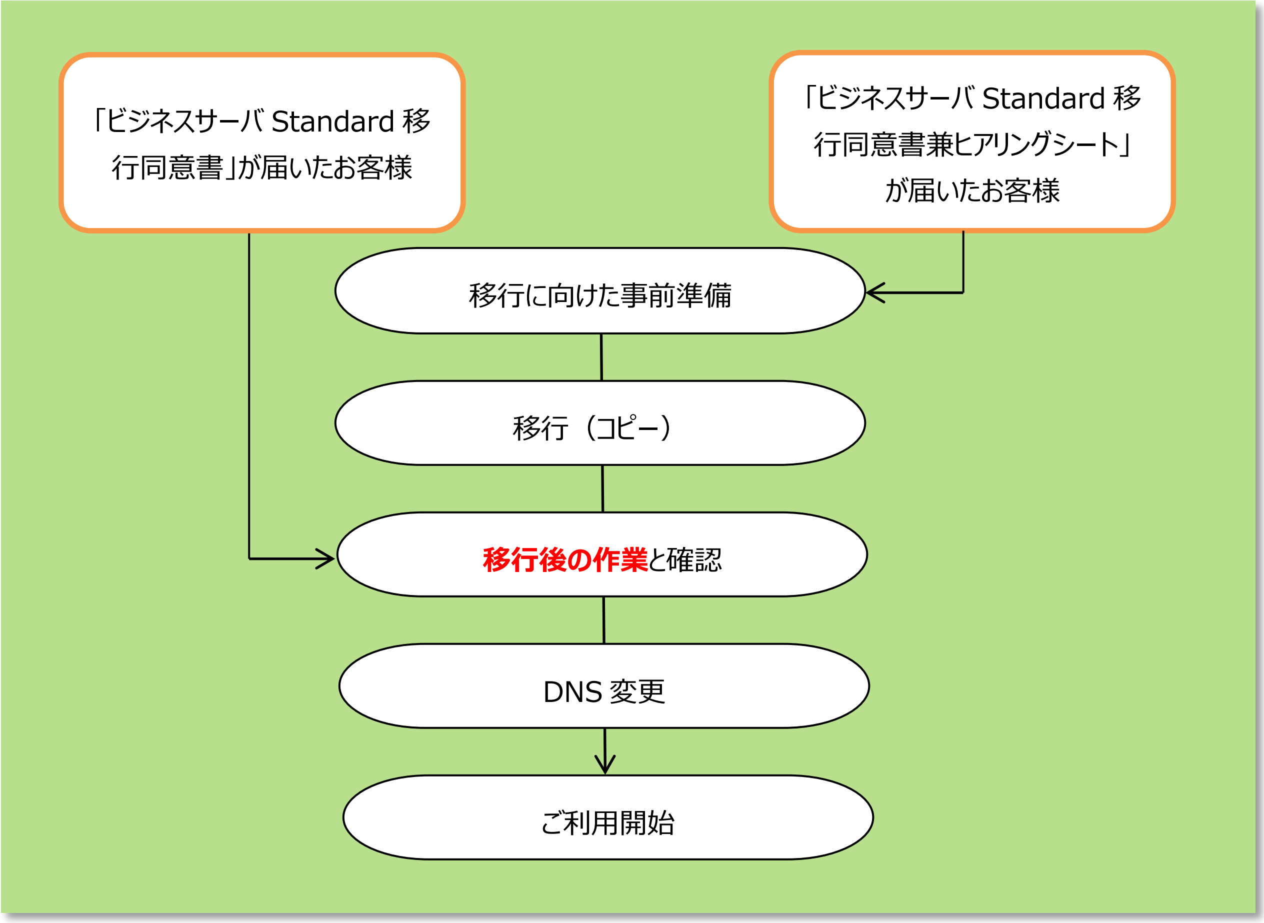
本書は、ビジネスサーバ Standard ご利用ユーザの Web コンテンツやメールアカウントをビジネスサーバ Standard プラスに移行するに当たって、エンドユーザ様で事前に準備しておくべき事項の説明（ガイド）です。

1.2 用語

#	用語	定義/説明
1	ビジネスサーバ・Standard	移行前のホスティングの共用サーバー
2	ビジネスサーバ・Standard プラス	移行後のホスティングの共用サーバー
3	移行元	ビジネスサーバ・Standard
4	移行先	ビジネスサーバ・Standard プラス

1.3 移行の流れ

移行は以下のような流れとなります。ここではお客様の「移行に向けた事前準備」がどのような作業かを説明しています。(下図、赤太字部分です)



Copyright © 2015 NTT Plala Inc. All right Reserved

1.4 移行対象/対象外と事前準備の要否

以下は、移行対象と移行対象外、事前確認の要否の一覧です。

分類	項目	移行（コピー）	要事前/事後準備	備考
メール	アカウント	○	○	
	転送設定	○	○	
	エイリアス設定	○[*1]	○	
	メールボックスに残されたメッセージ	×	○	サーバのメールはコピーされません
WebAP	WordPress	○[*2]	○	
	phpMyFAQ	○[*3]		
	PukiWiki	○[*3]		
	apache2_counter	×	△	同等機能を提供しますが別途設定が必要。
	phpMyAdmin	×		同等機能を提供します
	formmail	×	△	同等機能を提供しますが別途設定が必要。
DB	WordPress の DB	○[*2]	○	
	phpMyFAQ の DB	○[*3]		
	ユーザ独自 DB	×		エクスポートファイルを転送しますがインポートは行いません
Web	コンテンツファイル	○	○	
	CGI ファイル	○[*3]	○	設定ファイルの修正が必要な場合がございます
	SSL	×	○	弊社で証明書を再発行します
その他	ぷらら標準の Web メール	×		アドレス帳も含め、作業不要で引き続きご利用いただけます

*1 エイリアス設定は、転送設定として移行します。

*2 バージョンが 3.1 未満だと移行できない可能性があります。バージョンを 4.2.2 に更新することを推奨いたします。

*3 移行対象ですが、動作保証対象外となります。

2 メール関係の事前準備

メールアカウントと転送設定とエイリアス設定が移行ツールによる移行対象です。移行先の制限に合わせて移行前に以下の事前確認を行い、必要なら変更をお願いいたします。

2.1 メールアカウントの確認と変更

移行元のメールアカウント（メールアドレスの@以降を省いた文字列）は 64 文字までですが、移行先では 32

Copyright © 2015 NTT Plala Inc. All right Reserved

文字までとなります。半角英大文字は使えません。使えないアカウント名もあります。

アカウント名の以下の確認と変更をお願いいたします。変更が必要なのに変更されていなかった場合、そのアカウントは移行されませんので、ご注意ください。

- ✓ **アカウント名が 33 文字以上の場合は、32 文字以内にしてください。**
- ✓ **「#」で始まるアカウント名は使えません。また、「.@xxx」や「..@xxx」のように、ピリオドだけで構成さるアカウント名にも使えません。**
- ✓ **上記の変更に伴ってアカウント名が他のアカウント名と重複しないようにしてください。**
- ✓ **アカウント名の変更の際に、英大文字は使わないでください。以下の文字規則に則ってください。**

  【移行先のアカウント名で使える文字】a-z 0-9 . _ - = { } + #
- ✓ **以下のアカウントは移行先環境では使えませんので、他のアカウント名に変更して下さい。**

  adm alias apache bin daemon default ftp mail mailer-daemon nobody postmaster qmaild qmaill qmailp qmailq qmailr qmails root
- ✓ **admin は、移行先のデフォルトで設定されておりますので、転送設定やエイリアス名は移行されず、移行先で設定することができません（パスワードは（管理者画面ログインパスワード）となります）**

2.2 パスワードの確認と変更

移行元のパスワードは 8 文字以上で上限が特にありませんが、移行先のパスワードは 8 文字以上 32 文字以内となります。パスワードの文字規則も移行元と移行先で異なります。

パスワードの以下の確認と変更をお願いいたします。変更が必要なのに変更されていなかった場合、DNS 切替後、メールの受信ができなくなりますのでご注意ください。

- ✓ **パスワードが 33 文字以上の場合は、32 文字以内にしてください。**
- ✓ **パスワードで使える文字は英数字と以下の記号です。それ以外の文字は使わないように変更しておいてください。**

  【移行先のパスワードで使える記号】. _ - = [ ] { } + # ^ ! ?

2.3 転送設定の確認と変更

移行元のメール転送先の数は無制限ですが、移行先ではメールアドレスごとに転送先は最大 10 までとなります。

メールアカウントごとに以下を確認して変更してください。

- ✓ **転送先が 11 以上となる場合は、10 に絞ってください。**

2.4 エイリアス設定の確認と変更

移行元にはエイリアス設定がありますが、移行先にはエイリアス設定がありません。移行元のアカウントのエイリアス設定は転送設定として移行します。エイリアス名は実際のメールアカウントとして登録され、そのメールアカウントに対して転送設定します。従って前記（2.1 メールアカウントの確認と変更）と同じように、メールアカウントごとに確認して必要なら変更してください。 パスワードは admin と同じパスワードで設定されておりますので、必要に応じ、パスワード変更を行ってください。

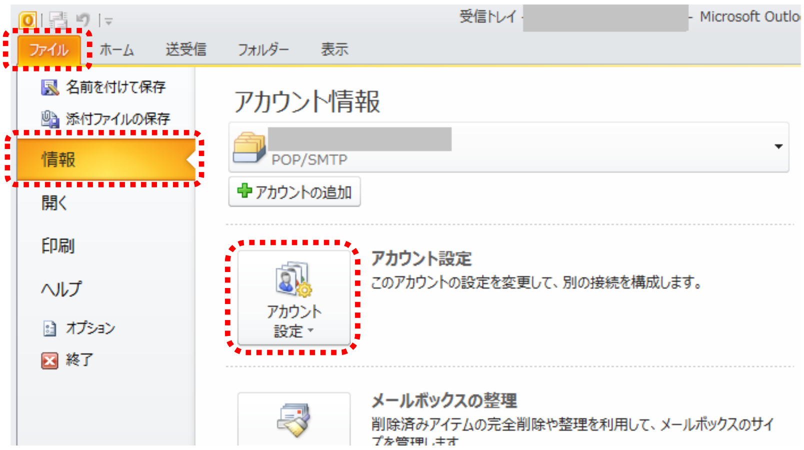
Copyright © 2015 NTT Plala Inc. All right Reserved

2.5 送信時の認証の確認と変更

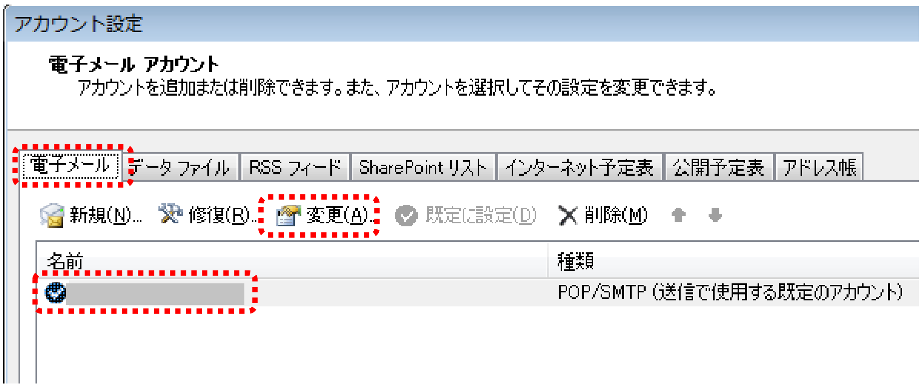
移行先の送信時の認証は、”SMTP Auth”は使えますが、”POP before SMTP”が使えません。

お使いのメーラーが Outlook の場合は、以下の手順で送信時の認証を確認してください。

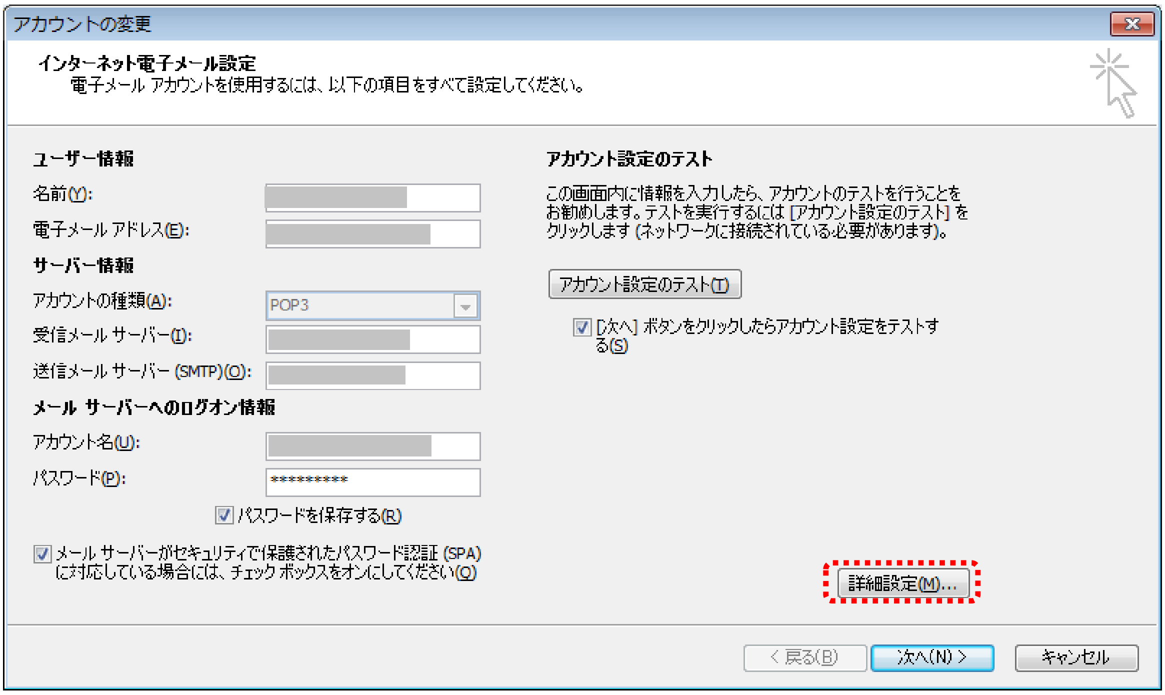
① **「ファイル」タグの「情報」メニューから「アカウント設定」をクリックします。**



② **「アカウント設定」の「電子メール」タグからメールアカウントを選択して「変更」をクリックしてください。**

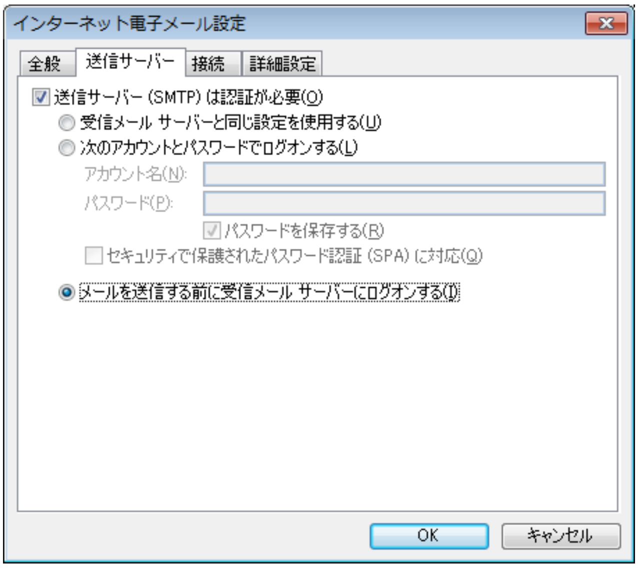


③ **「アカウント設定」の右下の「詳細設定」ボタンをクリックしてください。**



Copyright © 2015 NTT Plala Inc. All right Reserved

④　**「インターネット電子メールの設定」の「送信サーバー」タグを選択してください。**



⑤　**「送信サーバー(SMTP)に認証が必要」にチェックが入っていれば、送信時の認証を使っていることになります。以下のように判断してください。**

- **「受信メールサーバーと同じ設定を使用する」**が選択されているなら、送信時の認証は**”SMTP Auth”**です。
- **「メールを送信する前に受信メールサーバーにログオンする」**が選択されているなら、送信時の認証は**”POP before SMTP”**です。

以下のように、お使いのメーラーの確認と設定変更をしてください。

✓　**”POP before SMTP”をお使いの場合は”SMTP Auth“を使うように変更してください。**

✓　**”SMTP Auth“の認証方式が選べるメーラーの場合は、”Plain”を選択してください。**

2.6　残置/キャッシュされたメールメッセージの PC 端末への取込

移行元のメールサーバーに残置またはキャッシュされたメールメッセージは移行されません。メールクライアントを使わずに Web メールのみを使っている場合は、移行元で見ていたメッセージを移行先で見ることができなくなります。

以下のように PC 端末にメールメッセージを取り込むようにしてください。

✓　**Web メールのみをお使いの場合は、PC 端末にメールクライアントをインストールして設定し、メールサーバーに残置またはキャッシュされているメールメッセージを PC 端末に取り込んでください。**

3　Web アプリに関する事前準備（アプリでデータベ―スを利用の方のみ対象）

※本項目につきましては参考資料として掲載しており、窓口ではサポート対象外となります。

移行元から移行先に移行する Web アプリケーションは以下の 3 種類となります。

- WordPress
- phpMyFAQ

Copyright © 2015 NTT Plala Inc. All right Reserved

・　pukiWiki

移行先でも用意されていて移行が不要な Web アプリケーションは以下です。

・　phpMyAdmin

移行ができないため、お客様にて移行先で類似機能をインストール設定していただく必要がある Web アプリケーションは以下です。Web アプリケーションが提供する CGI を呼び出して使う HTML コンテンツは修正や入れ替えが必要となります。

・　apache2_counter
・　formMail
・　wwwboard

3.1 WordPress の確認とアップグレード

お使いの WordPress のバージョンが 3.1 よりも古い場合は、移行元で WordPress のバージョンアップをして動作確認してください。

WordPress のバージョンの確認とバージョンアップは以下の手順となります。

① **WordPress にログインします。**

② **最初のダッシュボード画面の「現在の状況」の最後に WordPress のバージョンが表示されています。**

③ **WordPress のバージョンが 3.1 よりも古い場合は、「4.2.2 に更新」ボタンを押してバージョンアップしてください。**

4 MySQL データベースに関する事前準備（データベ―スを利用の方のみ対象）

※本項目につきましては参考資料として掲載しており、窓口ではサポート対象外となります。

4.1 DB の数を絞る

移行先の MySQL のデータベースは 3 つまでとなります。

移行元のデータベースの数は、以下の手順で確認してください。

⑥ **移行元に SSH でログインします。サーバーアドレスとアカウント ID とパスワードが必要です。**

Copyright © 2015 NTT Plala Inc. All right Reserved

⑦ **MySQL のコマンドラインツールを起動します。アカウント ID とパスワードが必要です。**

⑧ **コマンド"show databases"を実行します。**

⑨ **実行結果の一覧からシステムカタログ（information_schema)を除いた部分がデータベースです。**
実行結果の最下行の"rows"の前の数値から 1 を引いた数がデータベース数となります。

⑩ **コマンド"exit"でコマンドラインツールを終了します。**

⑪ **コマンド"exit"で SSH からログアウトします。**

②

③

④
この例ではデータベースは
４つです。

```
> mysql -u <アカウント ID> -p
Enter password:<パスワード>
Welcome to the MySQL monitor.  Commands end with ; or ¥g.
Your MySQL connection id is 118 to server version: 5.1.73

Type 'help;' or '¥h' for help. Type '¥c' to clear the buffer.

mysql> show databases;
+--------------------+
| Database           |
+--------------------+
| information_schema |
| joomla             |
| mysql              |
| phpmyfaq           |
| wordpress          |
+--------------------+
5 rows in set (0.03 sec)
```

移行元のデータベースが４つ以上ある場合は、以下の方法でデータベースの数が３つとなるようにしてください。

✓ **不要なデータベースは削除してください。**

✓ **複数のデータベースを 1 つにマージしてください。この方法ではテーブル名がユニークでなければなりません。**

4.2 DB のサイズをシュリンクする

移行先の MySQL のデータベースの大きさは 100MB/DB となります。

移行元のデータベースの大きさは、以下の手順で確認してください。

① **移行元に SSH でログインします。サーバーアドレスとアカウント ID とパスワードが必要です。**

② **MySQL のコマンドラインツールを起動します。アカウント ID とパスワードが必要です。**

③ **データベースの大きさを計算する SQL コマンド（下図の薄紫の網掛け部分）を実行します。**

④ **実行結果の一覧の「MB」欄に、データベースの大きさを MB 単位で表示します。**

⑤ **コマンド"exit"でコマンドラインツールを終了します。**

⑥ **コマンド"exit"で SSH からログアウトします。**

Copyright © 2015 NTT Plala Inc. All right Reserved

③

```
mysql> SELECT  table_schema
    ->   , SUM(data_length+index_length) /1024 /1024 as MB
    -> FROM information_schema.tables
    -> GROUP BY table_schema
    -> ORDER BY SUM(data_length+index_length) DESC;
+--------------------+------------+
| table_schema       | MB         |
+--------------------+------------+
| mysql              | 0.63560677 |
| joomla             | 0.23388481 |
| wordpress          | 0.17839813 |
| phpmyfaq           | 0.15613270 |
| information_schema | 0.00781250 |
+--------------------+------------+
5 rows in set (5.48 sec)
```

④

この欄にデータベースの大きさを MB で表示します

移行元のデータベースの大きさが 100MB を超える場合は、以下の方法でシュリンクしてください。

- ✓ **データを SQL の delete コマンドや trancate コマンドで削除しても領域は解放されません。データベース単位でエクスポートして、新たに空のデータベースを用意してインポートすると、有効なデータ以外の領域が解放されて小さくなります。**
- ✓ **上記方法でも小さくならない場合は、不要なデータを SQL の delete コマンドや trancate コマンドで削除してから、上記のエクスポート/インポートを実施してください。**

移行元のデータベースのエクスポート/インポートは以下の手順となります。

① **移行元に SSH でログインします。サーバーアドレスとアカウント ID とパスワードが必要です。**
② **コマンド"mysqldump"でデータベースをエクスポートします。**
③ **エクスポートしたファイルが存在することを確認します。**
④ **MySQL のコマンドラインツールを起動します。アカウント ID とパスワードが必要です。**
⑤ **SQL コマンド"DROP DATABASE"でエクスポートしたデータベースを削除します。**
⑥ **SQL コマンド"CREATE DATABASE"で新たにデータベースを作成します。**
⑦ **SQL コマンド"GRAND ALL PRIVILEGES ON"作成したデータベースにアクセス許可します。**
⑧ **コマンド"exit"でコマンドラインツールを終了します。**
⑨ **MySQL のコマンドラインツールのシェル実行で新たに作成したデータベースにインポートします。**
⑩ **コマンド"exit"で SSH からログアウトします。**
⑪ **この項目前半の手順で、データベースのサイズを確認してください。**

Copyright © 2015 NTT Plala Inc. All right Reserved

```
② > mysqldump -u 〈アカウント ID〉 -p 〈データベース名〉 > db_wordpress.sql
Enter password:
③ > ls -la db_wordpress.sql
-rw-r--r-- 1 nttpctest0002 vuser 126702 May 28 04:06 〈ファイル名〉.sql
④ > mysql -u 〈アカウント ID〉 -p
Enter password:〈パスワード〉
Welcome to the MySQL monitor.  Commands end with ; or ¥g.
Your MySQL connection id is 118 to server version: 5.1.73

Type 'help;' or '¥h' for help. Type '¥c' to clear the buffer.

⑤ mysql> DROP DATABASE 〈データベース名〉;
Query OK, 11 rows affected (0.06 sec)
⑥ mysql> CREATE DATABASE 〈データベース名〉;
Query OK, 1 row affected (0.00 sec)
⑦ mysql> GRANT ALL PRIVILEGES
    -> ON 〈データベース名〉.*
    -> TO 〈アカウント ID〉@localhost
    -> IDENTIFIED BY 〈パスワード〉;
Query OK, 0 rows affected (0.02 sec)
⑧ mysql> exit
Bye
>
⑨ > mysql -u 〈アカウント ID〉 -p 〈データベース名〉 < db_wordpress.sql
Enter password:
>exit
```

5　Web コンテンツに関する事前準備

5.1　追加ユーザを利用の場合の確認

移行元では FTP や WEB の権限を持ったユーザを追加することができます。それぞれの追加ユーザが作成したコンテンツはそれぞれのディレクトリに FTP 転送されます。
移行ツールでは、それぞれのユーザが作成して展開されていたコンテンツは、移行先のドキュメントルートに転送されますが、追加ユーザの情報は移行先に移行されません。
FTP や WEB の権限が必要な場合は、移行先サイトにログインして WEB ユーザや WEB 特権ユーザの登録を行って下さい。

5.2　CGI を呼び出すフォームタグの確認

移行先で新たに Web アプリケーションをインストール設定して、その CGI を利用する場合は、CGI を呼び出すコンテンツのフォームタグの Action 属性を適切なパスに変更しなければならない場合があります。移行後に速やかに変更テストできるように、事前に変更箇所を確認しておくことをお勧めします。
以下の Web アプリケーションが提供する CGI を呼び出して使う HTML コンテンツは、適切なパスへの変更が必要となりますので、移行先サイトにログインして CGI 管理画面より設定下さい。

- apache2_counter
- formMail

Copyright © 2015 NTT Plala Inc. All right Reserved

5.3 SSL ドキュメントルートの分離対応 （SSL 利用中の方のみ対象）

移行元は非 SSL と SSL のドキュメントルートが同じでしたが、移行先では別のパスとなります。
コンテンツファイルを両方のドキュメントルートにコピーしておりますので、不要なファイルはどちらか削除してくだされば結構です。

5.4 ファイル名やディレクトリ名の半角スペース

ファイル名やディレクトリ名の一部または全てに半角スペースが使われていると移行されません。
予め半角スペースを使わないファイル名やディレクトリ名に変更して下さい。

Copyright © 2015 NTT Plala Inc. All right Reserved